

“HPV ワクチン接種”

判断できる情報提供を！

2013年、HPV ワクチン（旧呼称 子宮頸がんワクチン）接種がそれまでの任意接種から国や自治体が積極的に接種を勧める定期接種となりました（対象は小学校6年～高校1年生の女子）。その後ワクチンとの因果関係が否定できない持続的な疼痛や失神、呼吸困難等の副反応が報告されたことから、わずか2ヶ月後には積極的勧奨が中止となり、接種率は低下していました。

しかし昨年秋、制度のことを知らせる通知を対

象者に個別に出すよう国が自治体に要請し、自治体が応じたことをきっかけに、接種者が大幅に増えています。接種するかどうかを判断するため、メリットデメリットを含めた正確な情報提供が求められています。救済制度や検診体制、性教育等の課題も含め、引続きこの問題に取り組んでいきます。

平塚市における接種件数（累計）

2018年	2019年	2020年
15件	106件	603件

湘南海岸樹林への薬剤散布 —市民の声で周知方法が一部改善—

藤沢市鵠沼海岸から中郡大磯町東町まで、国道134号の南北両側に並行して、延長11.4km、面積85.2ha、平均幅80mの砂防林が広がっています。

砂防林は、潮風や飛砂による被害から海岸地域の住宅や道路を守る役割を果たしており、クロマツ他15種類程の大小の樹木で構成されていますが、そのクロマツを害虫から守るため、管轄する神奈川県では毎年5～6月に薬剤散布を行っています。その散布によると思われる健康被害があることから神奈川県ネットワーク運動・平塚では、当事者の方や生活クラブひらつか西海岸デポ、神奈川県議ととも、周知策や防除方法の改善に向け、県や市に働きかけを行ってきました。以下①②は県職員の方に努力いただき実現、③④は来年度に持ち越しとなりました。

- ① エリアごとの散布日が具体的にわかるよう、施工個所を示す地図に散布予定日を記載しホームページに掲載する。
- ② 予定日などをホームページで確認できるよう、歩行者向け掲示物等にQRコードを掲載する。
- ③ 市民の目につきやすいよう、掲示板を大きくし、チラシ等による近隣市民への周知を拡充する。
- ④ 近隣の教育機関、幼稚園・保育園、自治会に事前に周知する。

周知策については一歩前進ですが、散布による害虫防除ではなく、樹幹注入等、より安全な防除方法や、使用する薬剤等の更なる検討も必要です。平塚エリアにおける散布に係るコストは年間約400万円、

シックススクールマニュアルに

“香害”が明記されました

今年4月に平塚市シックススクールマニュアルが改訂され、2年に渡り要望してきた“香害”についての記述が追加されました。

洗濯時に使用する柔軟剤等の香料が健康に影響を与える可能性があると、保護者にもその認識を持つよ

う求めています。市のHPで見ることが出来るようになりました。教職員のみならず大勢の保護者の方にも見ていただきたいと思います。



お知らせ掲示板は小さいままでQRコードがついた（右下）

樹幹注入の場合は年間換算で約2000万円の予算が必要とのことです。市民の健康を優先するか、コストパフォーマンスを優先するか、自分の払った税金の使い途を市民一人ひとりが考えることが必要です。引き続き改善に向けた提案を行っていきます。

神奈川県ネットワーク運動とは

1. 議員は2期8年で交代します。
2. 議員報酬は市民の活動資金として活用します。
3. 選挙はすべて市民のキャンパとボランティアで。

